

エコ・ファーストの約束

ユニーは2008年に、総合小売業で唯一エコ・ファースト企業に選ばれました。

環境大臣と交わしたエコ・ファーストの約束は、2013年に地域のお客様や生産者、環境関連事業者、自治体との協働で達成することができました。

そして2014年6月、新しいエコ・ファーストの約束を交わし、さらに高い目標達成のために全社で取り組んでいます。

エコ・ファーストの約束を達成

■新しいエコ・ファーストの約束を締結

ユニーが2008年にエコ・ファースト企業に選ばれた要因は「食品リサイクルループ全国初の認定」でした。店舗から排出される廃棄物をできるだけリサイクルし、再生利用した製品や作物を再び店舗で販売するリサイクルループを構築し食品廃棄物を再生資源として利活用したことが認められたものです。

エコ・ファースト認定は5年ごとに更新され、新しい約束を締結します。ユニーは2014年から2018年までの5年間で、新しく約束した目標を達成しなければなりません。エコ・ファーストの約束を達成することで、持続可能な社会に一步一步近づいていくことを願って、地域に根ざした環境活動を推進していきます。



石原環境大臣と佐古社長（左）

■エコ・ファースト企業とのコラボレーション

エコ・ファースト企業が集まり、業界を超えて持続可能な社会を構築していくために、2009年にエコ・ファースト推進協議会を発足させました。ユニーはエコ・ファースト推進協議会メンバーのキリン株式会社、株式会社ライオンと協働で「環境にやさしいお買い物」を通してお客様にエコライフを提唱しています。

また店舗を建設している熊谷組の工事現場には、エコ・ファースト協議会で開催した「エコとわごコンクール」でユニー賞と熊谷組賞の受賞作品を現場周壁に描いて、子ども達のメッセージを周囲のお客様に伝えています。



キリン・ライオンとの協働企画



北川環境副大臣とエコ・ファーストの約束を交わす大野本部長（右）



エコとわごコンクール表彰式。ユニーから応募した3名の子ども達が入賞

エコ・ファーストの約束の進捗状況

1 食品循環資源のリサイクルループによる再生資源化および容器包装廃棄物の削減に取り組めます。	● 食品リサイクルの取り組みを全店舗で実施し、2012年までに再生利用等実施率60%を達成します。	▶▶▶ 再生利用等実施率 69.6% (2013年度)	p31 参照
	● 再生利用事業計画制度を活用し、食品リサイクルループを店舗のある1府18県に拡大します。(福島県を除く)	▶▶▶ 全府県にリサイクルループを構築し、国から認定(福島県除く)	p31 参照
	● 食品廃棄物発生抑制の取り組み (食品売上1万円当たりの発生量を2012年までに2007年比10%削減)	▶▶▶ 74.6% 削減 (2007年度比)	p31 参照
	● 2012年までにレジの辞退率75%を達成します。	▶▶▶ レジ袋辞退率 77.5% (2013年度)	p27 参照
	● 自治体と協力し、使用済み容器包装を店頭回収してリサイクルします。	▶▶▶ 店頭回収実績 3,616.4t 前年比 110% (重量)	p29 参照
2 持続可能な社会構築のための環境学習を実施します。	● 子ども環境学習を全店舗で実施します。	▶▶▶ 全店舗で実施	p7 参照
	● 環境関連事業者(廃棄物・リサイクル関連など)に対し研修を実施し、法令遵守、リサイクル推進を促します。	▶▶▶ 研修実施年 2回	p50 参照
3 消費者のライフスタイル変革による、低炭素社会実現を目指します。	● 環境に配慮した商品やサービスなど、消費者に地球温暖化防止を目指したライフスタイルを提供します。	▶▶▶ 環境配慮商品eco!on 商品開発・販売	p21 参照
	● 消費者の来店方法として、電気自動車の充電器の設置を進めます。	▶▶▶ 充電器設置店舗 29店舗34台 (2014年6月)	p20 参照